

第15回巨大津波災害に関する合同研究集会に参加しました（2025/12/11-12）

場所：関西大学梅田キャンパス8階ホール（大阪府大阪市）

参加者：Anawat准教授、田中(D1)、石原(B4)、瀬川(B4)、細江(B4)

12月11日～12日に、「巨大津波災害に関する合同研究集会」が関西大学梅田キャンパスで開催されました。本研究集会は、津波災害に関する研究に取り組む様々な分野の研究者や学生による学術的な交流を通じて、津波研究の発展と防災・減災に資することを目指して、2011年から毎年開催されています。

本年度は、発表者として田中(D1)、石原(B4)、瀬川(B4)、細江(B4)が参加いたしました。発表者の講演内容は以下の通りです。来年度は東北大学にて開催予定です。

- 田中健登 周波数領域応答解析による津波入射角、周期依存性の分析
～2025年カムチャツカ地震津波の養殖施設被害を受けて～
- 石原唯音 南海トラフ地震津波時の重み付き港湾ネットワークへの影響
- 瀬川琳太郎 大規模言語モデルを用いた東日本大震災の「体験」の体系化
- 細江莉央 東日本大震災における連鎖災害による鉄道のリスクモデルの構築

